

はじめに

近年、世界中でその役割がますます重要視されてきている NGO については、その活動能力や専門性の向上といった能力強化が一段と求められています。

外務省では、NGO の活動環境を整備するための事業の一つとして、「NGO 研究会」を主催しています。平成 13 年度に立ち上げたこの事業では、過去に分野別研究会として「保健・医療」、「教育」、「農業・農村開発」、国別研究会として「スリランカ」をテーマに研究会を行ってきました。分野別研究会は 3 年に渡り同テーマで行われ、一定の成果がみられたことから、平成 17 年度においてはテーマを変え、「人間の安全保障」という共通するテーマのもと、「災害復興」、「障害分野」、「保健分野支援における分野横断的取組」の 3 つの新たな分野で研究会を行いました。

本報告書は、「NGO 研究会（災害復興）」の 1 年の成果をまとめたものです。近年のスマトラ沖地震による津波災害、パキスタンにおける地震災害になどおける NGO の方々の活躍にはめざましいものがあります。災害時には緊急人道支援のみならず、その後の地域の復興にまでつなげていく中長期的な見通しが不可欠です。本研究会は、そうした災害復興分野での NGO の能力強化を目指し、国内研修、インドネシアでの海外研修により構成されました。国内研修では状況分析能力、計画立案能力、住民参加を促進する能力等につき、海外よりお招きした住民参加型災害復興支援事業の現地 NGO トレーナーを講師に、3 日間のワークショップが行われました。海外研修はインドネシアの北マルク州にて行われ、国内研修で学んだことを活かしつつ、現地での実践的な観点から研修が行われました。

今回の研究会活動及びこの報告書が、日本の NGO の災害復興分野での能力強化につながり、さらに、NGO のみならず同分野に関心をもたれるすべての人のお役に立つこととなれば幸いです。

2006 年 3 月
外務省経済協力局
民間援助支援室長
城 守 茂 美